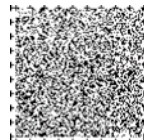


社会福祉法人 創文会
相談支援事業所 ハートピア出雲 情報誌「トピア」



Toppia

第60号



〒 693-0014
出雲市武志町 693-6
Tel : 0853-2 3-2 7 2 0
Fax : 0853-2 3-2 7 2 1
E-mail shien@heartpia.or.jp
ホームページ
http://www.heartpia.or.jp

<発行所>
相談支援事業所
ハートピア出雲

地域の皆さんとの交流活動（続編）

～出雲工業高校3年生が電動車いすを作成しハートピア出雲で完成報告会～

出雲工業高校では「地域課題解決型学習」の一環で、障がいのある方などがより快適に生活するために電動車いすの研究・制作に取り組みました。

昨年7月に電子機械科の生徒5名が電動車いすを作成したいので、話を聞かせてほしいと連絡があり、少しでも役にたてばと思い、デイセンター利用者の石田充樹さん（電動車いすユーザー）と協力をさせていただきました。

生徒と石田さんとの打ち合わせから数か月を経て完成した電動車いすには、石田さんが助言をしていた転倒防止用補助輪も付いていました。

さらに、スピードが3段階に切り替えができる機能や衝突安全機能で前後にセンサーが付いていて人・物を感知したらブザーが鳴るなど若者のアイデアは自由で面白いものでした。

生徒から今回の学習で今後活かしたい事の中に、「石田さんのような当事者の意見を聞く事が大切」「何回も失敗してもめげない力が身についた」

など力強い感想が聞けて嬉しく感じました。

若者たちが福祉に関心を持ってもらえたことが嬉しいし、若者たちが今後、志高く活躍してくれることを期待したいと思います。

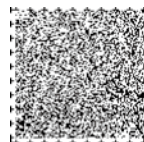
（文：ハートピア出雲デイセンターサービス管理責任者
石橋 貴宏）



●工業高校の生徒さんから説明を聴くハートピア出雲の職員

もくじ

- 工業高校生作成の電動車いす完成報告会・・・1 p
- 言語聴覚士からのミニクイズ・・・2 p～3 p
- エッセイ「柔軟に助け合いの気持ちをもって」・・・3 p
- めざせ女子力アップ&新人紹介・・・4 p



言語聴覚士からの「フムフム、なるほど！」～第2回～



言語聴覚士の安立多恵子です。ことば・コミュニケーションについての疑問を解き明かすプログラムの第2回をお送りします。

今回は、前回の復習を兼ねて、発音の発達について考えてみましょう。

Question 1：「カ」は舌先を使って発音する

Question 2：「カ」は「タ」より、早く上手に発音できるようになる

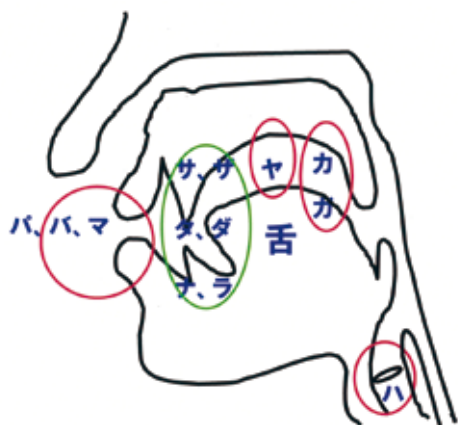
Q1 = ×

左の図は、口の中の様子を横顔にして表したものです。

「パ」とか「タ」とか「カ」などは、それぞれ口の中のこのような場所で発音されます。

舌先を使って発音するのは、図の緑色で示した「タ」などです。

では、「カ」はどのようにして発音するのでしょうか？



「カ」は舌先ではなく、舌の付け根を口の天井（口蓋）の奥に近づけて発音します。

このような動きは、何かに似ていると思いませんか？そうです。うがいと同じですね。



同じ舌の動き



Q2 = ×

まずは第1回の復習です。

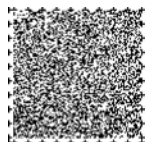
発音はすぐには上手にできませんでしたね。「あ・い・う・え・お」の母音は3歳頃に上手に発音できるようになりますが、子音は6・7歳頃にやっと上手に発音できるようになります。

また早く発音できるようになる子音とそうでない子音がありましたね。上手に発音できるようになる順番は、大まかに決まっています。

まずは、食事場面で説明します。

食べたり飲んだりすることは、話しことばの準備段階としてとても重要です。なぜなら、口は食べるためにも話すためにも使う場所だからです。また、口が発達する時期は「ああ」、「マンマンマン」、「バブバブ」など音を繰り返して言う喃語の時期と一致しています。

哺乳期は口の閉じが曖昧ですので、唇を使う音は出せません。舌の運動は前後のみです



3ページにつづく

ので、舌を使う音は出せません。したがって、この時期に出せるのは母音だけです。

離乳期になると口の動きが発達してきますので、唇を使う「マ、バ、パ」が出せるようになります。また、舌の動きも発達してきますので舌先を使う「タ、ダ、チャ」や、その次に舌の付け根を使う「カ、ガ」が出せるようになります。

同じ舌先を使う音でも「サ」や「ラ」は操作がとても難しいですので、上手に発音できるようになるまでには、長くかかります。(文：ハートピア出雲ステップ 児童指導員 安立 多恵子)



エッセイ の小窓

柔軟に、助け合いの気持ちをもって

WITHコロナの生活も3年目を迎えようとしています。落ち着きを見せようとしていた感染が年明けから身近なところで増加しました。皆さん色々な面で通常とは違う大変さを感じられたのではないのでしょうか。

私自身、子育て中で子どもの休園や休校の中、仕事をしなければと思った時、どうしたら良いか、子どものこと、仕事のこと、対応に戸惑う事も多かったです。また、通常と違い、子どもを誰かに頼む事もできないという緊急事態でした。

人と会う事自体が激減し、どうしても孤となり自分だけの頭で考えようとしてしまい、ふと人に相談すると、こういう仕事の仕方もあるのかと柔軟な時間で働いたり工夫次第という発見もありましたし、子育てと仕事との両立の難しさも痛感しました。

子どもは、保育園、学校へ行く、また大人もそれぞれの家庭での役割や仕事に出る事が当たり前でできた毎日から、いつ始まるか、いつ終わるのか分からない家庭での子どもの見守りなどの生活が随時始まりました。

母がよく言う言葉があります。「ありがたい」という言葉です。「ありがたいは、有り難い」普通に日常を送れる、有る事、は有り難い事、有る事が難しい事だと言います。日常が変わって始めて、いつも通り生活できていた事はどんなに有り難かったのかが分かりました。

東北などでの地震や世界での戦争など痛ましいニュースを見て、初めていつも通りに生活を送れること、平和の尊さを感じます。

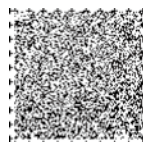
どうしても、日常出来ていた事が制限されると、気持ちは低迷します。私はそんな時、今ある現状でどうやったら楽しめるか、何かできる中での楽しみをと考えるようにしています。その中で、気付かなかった身近にある楽しみやゆっくりとした時間やじっくり向き合う時間が作れたという良い事もあったように思います。

まずは、自分自身・家族が健康である事、その上でそれぞれの生活があるという事がより身に染みる年明け、春を過ごしました。

少し先を予想したり見通しながらも、今この現状で、どう過ごし楽しむかを支援の中でも一緒に考えて行きたいと思っています。

このような中で、どうしても人とのコミュニケーションが不足しがちになりました。今ある現状に感謝しながら、感謝を口にしたり、文字にしたりして人に伝える事の大事さも感じています。人との繋がりは安心感や活動を起こすための原動力にもなると思います。

今は現状維持をしながら、なるべく柔軟に、そして、自分の身近な人に何か助けとなる事が出来ないか、それが出来ない時は、思う事、想って言葉を掛ける事をしていきたいと思っています。(文：相談支援事業所ハートピア出雲 藤原 三栄子)



わたしの仕事 その11 *～めさせ!女子力UP～* 絵を描くことで、自分の世界が広がっている柳楽怜奈さん

「令和3年度鳥根県障がい者アート作品展—WEB展 2021—」にてワークセンターフロンティア利用者、柳楽怜奈さんが奨励賞を受賞されました。怜奈さんのお父様の柳楽武臣さんから一言喜びの声を頂きました。



●賞状を手にする柳楽怜奈さん

子供の頃から楽し気に絵を描く姿が印象的で、本人オリジナルの素直な感性と色彩感覚を用いて表現した独自の世界観を持つ作品が評価され、今回奨励賞を頂いたことを父として嬉しく思います。これからも喜びを感じながら、楽しく絵を描いてもらいたいと願います。(文：ワークセンターフロンティア：柳楽 武臣)



令和3年度 鳥根県障がい者アート作品展「WEB展 2021」	
作品名	ちょうちょ と とんぼ
	AS 上巻紙 自由画
その他 (※)	作品創作にかかる思い等を書き下さい。 ちょうちょ と とんぼ をたのしく描いてみました。
なごら れいな	
柳楽 怜奈	奨励賞

よろしくお願ひします！～新人職員の紹介～

4月からハートピア出雲スマイルの保育士として働いております勝部琴菜です。
まだ未熟な保育士ですが、毎日笑顔で子ども達と関わりたいと思っています。よろしくお願ひします。



勝部 琴菜

編集 後記

◆仏教用語で「和顔施^{わがんせ}」というものがあり、にっこりと相手に話しかけ笑顔をプレゼントすること（お布施の一種）だそうです。笑顔を向けられた相手はよほどの変人でない限り、嫌な気持ちにはならないでしょう。ただ、残念ながら今はマスク生活を送っているため、顔全体で笑顔を見せあう機会がぐっと減っているように思います。それでもマスク越しとはいえ目や表情で笑顔を相手に見せることは可能かなあと思い、私もなるべく実践しようと心がけています。“笑う門には福来る”スマイルはゼロ円なので(笑)。【編集長 米山】

